

オフィスカーの活用加速 —太陽光パネル搭載車両の導入利用を促進—

三井住建道路株式会社（東京都新宿区、社長：松井隆幸）は、かねてより現場の事務作業効率化・移動時間削減の為に導入している、移動事務所車「オフィスカー」に対して、太陽光パネルを搭載した新モデルの導入をすすめ、オフィスカーの活用をさらに広げます。太陽光パネル搭載により、電力供給量が増えることでオフィスカー内での事務作業がより便利になりました。オフィスカーの活用加速によって、魅力ある労働環境の実現・働き方改革を促進させていきます。

オフィスカーは、車内に収納機能付きデスク・椅子、後席カーテン等の装備のほか、エンジンを止めてもパソコンや簡易エアコンが使える充電設備を整えたオリックス自動車株式会社（東京都港区、社長：上谷内祐二）の特殊車両。現場での施工管理業務の合間に書類作成等の事務作業を可能とし、事務作業の為に事業所に戻る必要がなくなり、事務作業が効率化されます。2015年の開発時よりオリックス自動車(株)と協議の上、試験導入を経て本格的に導入となりました。段階的に改良要望（※）を取り入れながら、毎年導入台数を増やしています。2020年2月に太陽光パネルを搭載した新モデルが追加され、走行時や外部電源からの充電に加えて太陽光からも搭載バッテリーへの充電が可能となりました。当社も新モデルの導入を積極的にすすめています。

太陽光パネル搭載のオフィスカーを利用している現場担当者からは「これまでの走行時や外部電源からの充電に加えて太陽光からも充電されることにより電力供給量がアップしたので、通常の事務作業であれば、バッテリーの残量を気にすることなく進めることが出来ます。環境性能については、外部電力（商用電力）の使用が減っているので、結果的にCO2削減につながっていると思われます。」との声を聞くことが出来ました。



太陽光パネル搭載タイプのオフィスカー



↑ ベーシックタイプ



↑ 収納スペースタイプ



↑ 休憩スペースタイプ



↑ 休憩スペースタイプ（フラット時）

（※）導入より6回の改良を経て、現在3タイプのオフィスカーが選択でき、それぞれ太陽光パネルを搭載させることが可能となっています。

<お問い合わせ>

三井住建道路株式会社 広報室 03-6258-1534 * リリースに記載しているものは発表時のものです